

西林照子
西羅 正
野瀬 喬
橋本洋子
橋本洋子
張本慶子
平野迪彦
藤木幸温
星 乗昭
松島旺子
松山和子
三上滋子
峯 弥生
村山 昌
葉丸洋秋
山形雪雄
山本桂子
横田玲子
吉川三郎
渡辺輝子

西村征一郎
二宮伸雄
野瀬富美子
長谷川誠
服部素彦
春田実章
平川清子
藤田京子
星野次男
松原智恵
丸山佐紀子
三国菜穂子
村林尋行
村山信子
谷部岩松
山崎藤衛
山本有三
吉井惣一郎
芳村稔子
メアリー弘子・ボイド

西野 薫
根岸和子
能村研三
長谷川千代
服部真知子
坂東重武
深沢亮子
古島隆司
堀江桂爾
松延裕子
丸山晃司
見谷静枝
松前浩子
見谷静江
矢島文雄
山崎悠子
大和弓子
吉沢濱子
米村さとみ

西宮美代子
野口道子
羽賀有年
長谷川康啓
花房美知子
東尾義之
藤井礼子
福井康祐
本間治郎
松本八重子
丸山周子
御園 雅
村山信子
森田恒弘
安田芳照
山崎珠未
湯井嘉代子
吉川陽子
若狭 慧
アマービレ弦楽四重奏団

西山 弘
野瀬博孝
萩原和子
蓮尾元昭
林 正幸
樋口 進
藤井昭宏
渊上竹千代
前原敏子
松本浩一郎
三浦和子
箕輪良介
村山典子
八木千鶴
安原敬三
山田不二雄
横田朝之
吉田貞子
渡辺和子

(恐れ入りますが、敬称を略させていただきました。)

～♪第334回市響「交響楽の午後」♪～

平成20年7月20日(日) 14:00 開演

場所：市川市文化会館大ホール

演奏：市川交響楽団

指揮：井崎正浩

ビオラ独奏：松実健太

曲目：ウォルトン作曲/ビオラ協奏曲

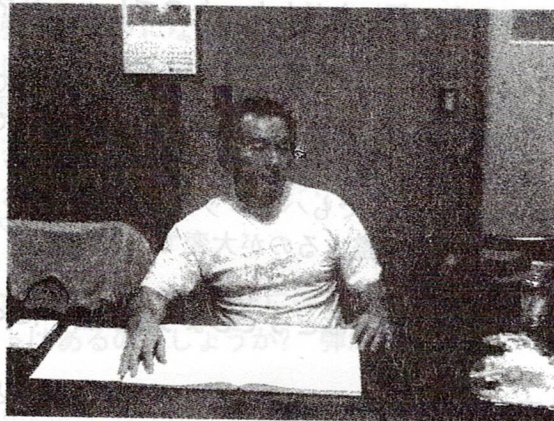
ブルックナー作曲/交響曲第7番(ワグナー版)



☆ このたび、初めて ～「広報市響」～ 賛助会員・維持会員を募る
を企画いたしました。☆ (文責星乗昭)

新しい試みとして今回の演奏会の指揮者とソリストに「突撃インタビュー」をすることとなりました。

7月13日(日)朝10時から4時半まで国府台女子学院寿光殿大講堂でのリハーサルがおこなわれた昼食時、指揮者の井崎正浩氏には市響コンサートミストレス立田祥子さん。ビオラ奏者の松実健太さんには市響ビオラ首席の内田綾実さんが「あなただったらどんなこと聞きたい?」と聞いて回り、質問項目をまとめてしていただきました。



♪♪<指揮者・井崎 正浩氏へのインタビュー>♪♪ コンミス立田祥子

Q1. 初めてクラシックを聞いたのは何歳ごろなのでしょう?

A. 母がクラシックが好きで、母の影響で小学校低学年のころにヤマヤの家具調のような大きなステレオを買ってくれて、その時お店の人がサービスでレコードをつけてあげますが何がいいですか?とお店の人に聞かれて、カラヤン/ベルリンフィルの運命と未完成と答えた。一番最初に手に入れたレコードアンダーソンなどのライトミュージック小学校1. 2年で??その後もアンダーソンなどよく聴いた。
小学館から世界の名曲十数巻くらいで、絵と写真とLP解説がついている名曲アルバムののようなものがあってそういうものを聞きましたね。

Q2. 指揮者になろうとしたきっかけは?

A. きっかけはね一話せばながくなりますが、クラシック音楽を本格的にやりだしたのは高校2年生のとき2学期からで、エレクトーンをやっていて、シンセの富田勲さんが「展覧会の絵をシンセサイザに編曲したものを聞いてとても感動して、自分もそれをやろうとしてエレクトーンクラシック部門の全国大会に出たのです。そこで福岡大会で優勝しちゃたの。そんなもんで先生からクラシック音楽これからもやってみないといわれて、それからピアノをちゃんとやり始める。もう大変でした。タッチが全然違う。クラシック音楽に進めるということで教育の大学に入ったのです。理論の声楽もピアノ

も副科で楽器もやらなくてははいけない。そこでは男の子が少なく学年で40人いたら2人とかなので、合唱にならないので伊崎おまえ振れということになった。合唱指揮などしていたが当時は人前で振るなんて恥ずかしかった。ふとしたきっかけで文部省の給費でウイーンに留学したのですよ。在学中に、その時はじめてマーラー、ブルックナーに出会ったのですよ。その時に、福岡で一般の指揮法を習っていたのが、ベルリンフィルの安永徹氏の父上の安永武一郎先生だったのですが、その武一郎先生が一般的な指揮法ね。その先生がウイーンにやっぱり留学された、その時の友達というのが、僕が行ったときの指揮科の主任教授だったのです。その教授が、君は安永に習っているのなら指揮も勉強しなさいということになった。その後面白くてやめられなくなりました。

Q 3. 指揮者にならなかつたら 何になりたかったのでしょうか？

A. 中学生の頃テレビ番組でパイロットを養成する番組があつて、しかしその当時は募集採用がほとんどなかつた。高校になって数学が好きになってそういう関係でなにか生かせる大学とおもつてはいた。高校は理系でしたが将来どういふふうになろうという希望は全くなかつた。～じつは市響でもパイロットが2人いてバイオリンとビオラです。～そうですか。スケジュールを調整するのが大変でしょうね。

Q 4. 初めて市響を振られた時の印象はどうでしょうか。言いにくいとは思いますが？

A. 市響はどういふオケか、あらかじめ知っている人から聞くと、一言でいけば力のあるオーケストラですよ。それは的を違わずと思ひました。大体ブルックナーやマーラーがプログラムに載っているということは上手なオケかはったりをかましているオケかどつちか。どつちかしかない。しかもブルックナー7番はワグナーチューバがある。それを自前でできる。更にウォルトンを持ってきている。曲目を見れば、それ相応の準備が出来るオケだなとわかります。市響のようにジュニア、ブラス、合唱団なども併せ持つ大きな母体があり運営がちゃんとできるところはやはり実力があつます。演奏に集中できるという環境は強いです。市響は今本当に上昇してきている。みるみるいい音になってきています。指揮者が提案・要求することをどう答えてくれるか、投げた球をどう返してくれるか。ほんとうにいいオーケストラは受け止めた後ちゃんと返してくれます。前回の練習がちゃんとつながっています。実際前の週に言ったことはクリアしてくるし言った事に対して反応もあり、どのくらいの変化球が投げられるか試してみている。

Q. 5 今後さらに市響が向上するためには どのようなことが必要ですか？

A. 今日チエロの皆さんにいったのですが、自分以外のほかの人は伴奏など、なにをやっていますか。コンマス、トップ以外の後ろに座っている人もアンテナをたくさん立ててアンテナも高品質自分が演奏している時他の楽器はなにをしているか。全体の中で、今どのパートが何をやっているか、誰が旋律で自分は何をすればいいか、楽譜と指揮者とコンマスとパートトップと今旋律を演奏しているパートを一度に視野に入れるつもりで演奏します。それをベルリンフィルはやっています。プルトの一番後ろの人が遠い楽器のことを視野にいれています。スコアをチェックするとき 自分のパートをマーカーで塗るのでなく今だれが主体なのか○つけることをするといいでしょう。いい演奏をするところほど 隅々の人まで「良質の感度のいいアンテナ」をたくさん立てている。

♪♪ <松実健太氏へのインタビュー> ♪♪ ヴィオラ首席内田綾美

Q 1. 初めてクラシックを聞いたのはいつですか?またクラシックを始めたきっかけは何でしょうか?

A. 私は3歳半でヴァイオリンを習い始めました。はじめてC l a s s i cを聴いたのは・・・いつかは覚えていませんが、両親が音楽が大好きで、特に父がレコードなどでよく聴いていたのを覚えています。母は大学でヴァイオリンに携わっていたので 私が習い始めた時は、毎日のように家で教えてくれました。

Q 2. ヴィオラの魅力は何でしょうか?

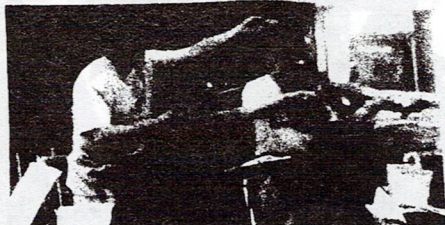
A. ヴィオラを本格的に勉強するようになったのは留学先の 王立音楽院です。ヴァイオリンを勉強しに留学したのですが、音楽院で一緒に組んだカルテットのヴィオリストの音色が素晴らしくて、ヴィオラの虜になってしまいました(笑)。留学2年目からヴァイオリンとヴィオラ両方を専攻して・・・大変でしたが欲張って勉強してきました(笑)。ヴィオラ独特の、中音域の落ち着いた温かい・・・ちよっと渋い音色が私は大好きです!!

Q 3. バイオリンも弾かれますが、どういう風に弾きわけてらっしゃいますか?またそれぞれでポイントはありますか? 弾かれる割合は?

A. 現在はヴィオラを中心に、ヴァイオリンも時々弾きながら演奏活動を続けています。大学ではヴィオラもヴァイオリンも専攻生がいて教えています。演奏活動の割合はヴィオラが4分の3、ヴァイオリンは4分の1位でしょうか? ヴァイオリンでは、横浜や名古屋でお世話になっているピアニストの先生や先輩方とピアノトリオを定期的に共演させてもらっています。ヴィオラとヴァイオリンは、楽器の見た目はそんなに変わりませんが、ヴィオラらしい音を出すにはコツが必要です。ヴィオラを弾く時は右手の腕や肘の「重み」を弓に伝えて・・・その重みを利用してヴァイオリンよりも太い音を出せるように心掛けています。

Q 4. 市響の感想を率直にお願いします。

A. 市川交響楽団は、皆さん熱心で活気があるオーケストラだなあ・・・と初めてのリハーサルの時に思いました。難しいパッセージの所も、一生懸命向かっていく! その心意気が素晴らしいです。指揮者の井崎先生がプロのオケに要求するような指導でもしっかりくらいついて行こうとする・・・その姿勢がとってもフレッシュでした。私も大学のオーケストラに毎週携わっていますが、この熱意と姿勢は学生のみんなにも見てもらえたらなあ・・・と思いました。



Q6 最後にハンガリーでの生活について お聞かせ下さい。

A. 街の総監督のようなことをして主に音楽部門を受け持っていますが事務的な作業もたくさんあります。でも日本にいるときより時間にも余裕があり自然もいっぱいです。私の家では、朝は町中でありながら鳥の声で目覚め、休みの日には友人たちが「釣り」や「温泉」に行こうと誘ってくれる。温水プールみたいなものだけれどハンガリーは温泉で有名なんですよ。人間らしい生活だと思えます。向こうにいる時は充電の時だと思えます。

<♪～井崎 正浩氏のよこがお～♪>

指揮者井崎 正浩氏は1995年5月のブダペスト国際指揮者コンクールで優勝されてから一躍注目を浴びられ、それ以来、国内外にわたって目覚ましい活躍をされて、今まさに注目を集めている指揮者です。国内では'96年1月に東京シティ・フィルのニューイヤークンサートでデビューして以来、同楽団を始め、読売日響、日本フィル、新日本フィル、東フィル、神奈川フィル、群馬響、セントラル愛知響、九州響などに招かれ次々と客演指揮し、「パワーとエネルギーを十分に保持し、しかも細かいところをかつちりと揃えた音楽作り」（「音楽芸術」誌）、「明確な表現意図を持ってメリハリの効いた、凝縮力のある演奏」（音楽舞踏新聞）などの高い評価を受けておられます。

海外では特にその拠点をハンガリーに置いて、これまでにハンガリー国立響（現、ナショナル・フィル）、ブダペスト放送響、マターヴ響、マーヴ響、ハンガリー国立歌劇場管弦楽団（ブダペスト・フィル）などを始めハンガリーの主要なオーケストラのほとんどに客演指揮し、高い評価を受けています。2005年6月には、福岡に新たに創設されたオーケストラ“九州室内管弦楽団”の首席指揮者に就任されました。

現在の活動場所はハンガリー・ソルノク市、（ハンガリーの東方、ブダペストより100km）で、2007年4月ソルノク市音楽総監督に就任されました。これは同市に所属する交響楽団、合唱団、舞踊団、劇場及び文化センター等の音楽文化団体の活動や施設運用を総括するもので、同市において初めて設けられたポストのみならずそのポスト存在自体がハンガリーにおいて稀な例で、かつて日本人はもとより他の外国人やハンガリー人自体も就いたことのない立場への異例の抜擢で大きな話題を呼びました。



Q5. ウォルトンのヴィオラコンチェルトはいかがでしたでしょうか?

A. ウォルトンのヴィオラ協奏曲は私は初めてコンサートで演奏します。留学中に恩師から勧められて勉強したことがありましたが、今回・・・より深く曲を知る上で、とってもいい機会になったし勉強にもなりました。イギリスらしいとっても素晴らしい曲なので、これからどんどん生徒やいろんな所でも紹介できたら・・・と思っています。

Q6. 最後に今後の音楽活動をお聞かせくださいませ。

A. 8月は、名古屋でピアノトリオのコンサート（ヴァイオリンで）をさせていただいたり、桐朋学園子供たちのための夏期セミナーで合奏の指導をしてきます。又8月から月に1回程度「関西のあるオーケストラ」で客員首席奏者を務めさせていただきます。秋には大学のオーケストラでオペラ定期公演に参加します。その他これからも室内楽を主に、オーケストラなどでも活動していきます。弦楽雑誌「サラサーテ」に寄稿もしています。

<♪～松実健太氏のよこがお～♪>

松実健太さんは桐朋学園大学を経て、英国王立音楽院大学院ヴァイオリン科を首席で卒業されたあと、ヴィオラ研究科を修了されました。1992年にパロマードロ国際室内楽コンクール最高位並びに新曲最優秀賞を受賞されました。そして1994年第9回ターンブリッジウェルズ国際コンクール弦楽器部門優勝。第5回ライオネルターティス国際ヴィオラコンクール第2位と、ピーターシドルフ特別賞受賞。その他、国際コンクールにおいて多数入賞されておられます。

2001年英国王立音楽院より「Hon. ARAM」（名誉王立音楽院準メンバー）を授与されており、また2006年ライオネルターティス国際ヴィオラコンクールの審査員も務めておられます。

CDも2000年セイコーエプソンからソロアルバムをリリース、続いて、《マイ・バッハ・プラスワン》を、2003年5月初めてのヴァイオリンソロ・アルバム、《通りゃんせ～日本のメロディー》などの4枚だされ、いずれも好評発売されておられます。現在大阪相愛大学、昭和音楽大学、桐朋学園大学附属音楽教室で後進の指導にもあたっておられます。

使用されている楽器は昭和音楽大学所蔵のフランチェスコ・ゴッフリラ（1700年代）です。



市川交響楽団協会演奏会のご案内

～♪広報市響♪～

市川交響楽団協会年間予定

<平成20年(2008)>

- 2/3 千葉県創作オペラ「華狐」賛助出演 千葉県文化会館
- ～市響団員による室内楽～
- 2/16 (土) 18:30～ 管楽合奏の夕べ 行徳文化ホール
- 2/17 (日) 14:00～ 弦楽合奏の午後
- 3/29 「日本青少年交響楽団特別演奏会」 指揮：現田茂夫 市川市文化会館
歓迎演奏：市川交響楽団協会 指揮：山崎 滋
- 4/5 第332回「市吹定期演奏会」(吹奏楽) 指揮：佐藤宗男
チャイコフスキー作曲交響曲第4番ほか 葛飾シンフォニーヒルズ
- 5/5 第333回「市響ジュニア演奏会」(オーケストラ) 市川市文化会館
ブラームス作曲交響曲第2番ほか 指揮：山崎 滋
- 7/20 第334回「交響楽の午後」(オーケストラ) 市川市文化会館
指揮：井崎正浩
- 9/7 第335回「市吹納涼コンサート」(吹奏楽) 市川市文化会館
指揮：佐藤宗男
- 11/3 第336回「行徳・親子コンサート」(オーケストラ) 行徳文化ホール
指揮：山崎 滋
- 11/16 第337回「合唱の集い」(市混・行混) 市川市文化会館
清水脩・合唱組曲「山に祈る」ほか 指揮：山崎 滋
- 11/23 市響移動公演(TCC) 特別養護施設・訪問演奏旭市訪問コンサート(室内楽)
- 11/24 第338回市響 旭市移動公演(TCC)(オーケストラ) 東総文化会館
ラフマニノフ交響曲第3番、アルプホルン協奏曲 独奏世川望
ムソルグスキー「展覧会の絵」 指揮：十束尚宏
- 12/14 第339回「ファミリー交響楽コンサート」(オーケストラ) 市川市文化会館
ラフマニノフ作曲交響曲第3番、
チャイコフスキー作曲 ロココ変奏曲 チエロ 向山佳絵子
ムソルグスキー作曲・ラベル・組曲「展覧会の絵」 指揮：十束尚宏

<平成21年(2009)>

- 2/8 第340回「市吹定期演奏会」(吹奏楽) 指揮：佐藤宗男 市川市文化会館
- 2/22 「春のうたごえ・2009」出演 市川市文化会館
ヴェルディー作曲「レクイエム」 指揮 森口真司